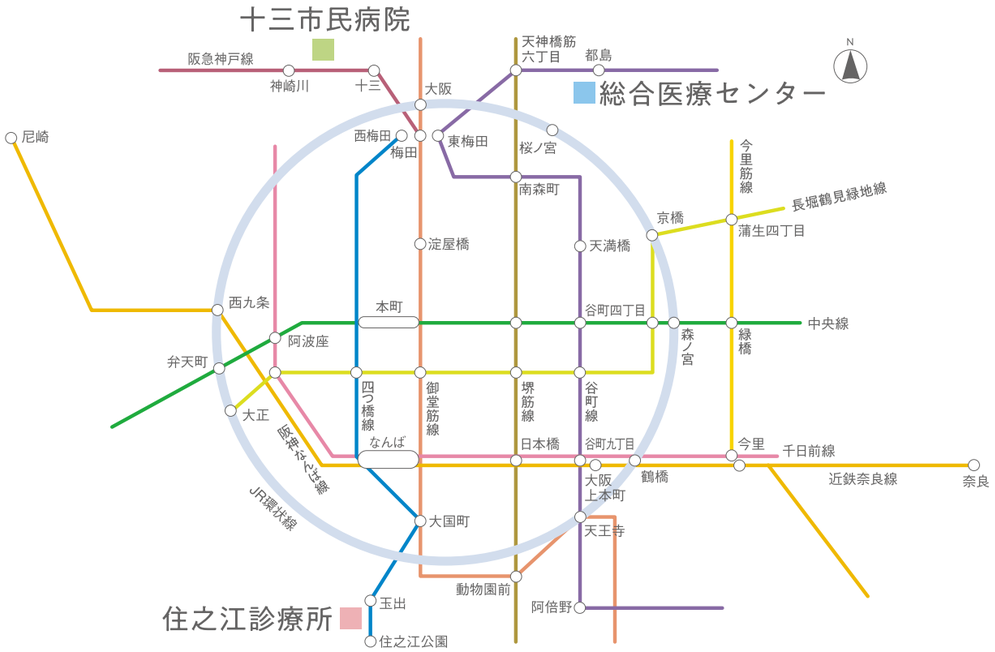
ACCESS GUIDE

［アクセスガイド］



十三市民病院

〒532-0034 大阪市淀川区野中北２丁目12番27号
TEL.06-6150-8000

●阪急神戸線「神崎川」駅から南東へ徒歩約８分

総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通２丁目13番22号
TEL.06-6929-1221

●大阪メトロ谷町線「都島」駅２番出口から西へ徒歩約３分
●ＪＲ大阪環状線「桜ノ宮」駅東出口から北へ徒歩約７分

地方独立行政法人
大阪市民病院機構

〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通２丁目13番22号
TEL.06-6929-3687 FAX.06-6929-7099
http://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/

2022年2月

RECRUIT BOOK

MEDICAL STAFF

医療技術職員・事務職員
募集案内

OSAKA
CITY
HOSPITAL

地方独立行政法人
大阪市民病院機構

大阪市立 総合医療センター ｜ 大阪市立 十三市民病院 ｜ 大阪市立 住之江診療所

市民とともに、明日へ。

一人ひとりの強みを生かし合い、チームで市民の思いに応えます。

さまざまな職種がある医療職。
どれひとつ欠けても、医療は成り立ちません。
わたしたちは職種を超えて連携し、
患者さんの生命と健康を守っています。
これからも市民の皆さまに信頼される
「人間味あふれる温かな医療」を実践したい。
そんな思いに共感してくれる仲間を待っています。

OSAKA CITY HOSPITAL 3 POINT

01

人々の安心を守る最後の砦（セーフティネット）

大阪市の中核病院として、
総合的かつ良質な高度専門医療を提供。
人々の健康と安心を守る“最後の砦”として
市民の信頼に応えます。

02

**地域がん診療連携拠点病院
小児がん拠点病院**

「地域がん診療連携拠点病院」と
「小児がん拠点病院」の指定を受け、
幅広い年齢層に対して専門的で質の高い
がん医療を提供しています。

03

目標・目的に応じて選択できる、充実の研修内容

経験年数や習熟度に応じた
教育制度が用意されています。
目標・目的に応じた研修を受講し、
確実にキャリア開発することができます。

大阪市民病院機構の基本理念

広く市民に信頼され、人間味あふれる温かな医療を提供する病院をめざします

基本方針

1. 患者さんの健康に生きる権利と人間としての尊厳を尊重します
2. より安心で信頼できる良質な高度専門医療を提供するとともに、医療水準の向上へ貢献します
3. 大阪市の中核病院として、地域医療機関との適切な役割分担のもとに連携を強化します
4. 医療を支える優れた人材を育成します
5. 職員が意欲的に働くことのできる、働きがいのある職場環境を作ります
6. 継続して良質な医療を提供できるよう、健全な経営基盤の確立に努めます

大阪市民病院機構の「3C」

CHALLENGE
常に問題意識を持ち変化を恐れずに
目標に向かって行動できる人

COMMUNICATION
病院で働くすべての職員と協力し課題解決にあたれる人

CREATIVE
既存の方法・慣習にとらわれることなく
自由な発想で仕事ができる人

薬剤師

患者さんと誠実に向き合う
質の高い薬剤師を育成。

薬剤部では患者さんを中心に考えた医薬品の適正使用を推進するとともに、感染制御、栄養サポート、緩和ケア、糖尿病療養指導などのチーム医療に積極的に参加しています。また、薬剤師レジデント制度により高度医療に貢献できる薬剤師の育成にも取り組んでいます。

INTERVIEW

薬剤師 大塚 涼平さん

大阪市立総合医療センター
薬剤部　病棟部門　所属

全診療科を経験後、目指す専門性を高める。

ほぼ全ての診療科があるため、メジャーな疾患から希少な疾患まで多様な治療に関わることができます。レジデント制度により全診療科を2年で経験し、その後興味のある分野で専門性を高めることができる点も魅力です。

研修について

1 薬剤師レジデント制度

2015年4月より薬剤師実務研修生（レジデント）制度を導入しました。これは、調剤業務、臨床研究、病棟業務などの病院薬剤業務の基本的な技術を身につけるとともに、高度医療に対応した臨床薬剤師業務およびチーム医療に貢献できる薬剤師の育成を目的とした制度です。研修期間は2年で、日本医療薬学会研修ガイドラインに基づいた独自プログラムによる研修を行います。

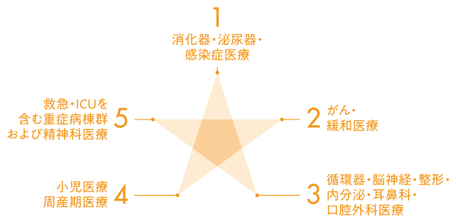
2 2年間の充実のカリキュラム

研修期間は前期（3ヵ月間）、中期（10ヵ月間）、後期（11ヵ月間）に分かれています。前期は調剤、注射調剤、TPN調製等のセントラル業務を中心に行い、病院薬剤師業務の基本的技術を習得します。中期は5つの診療科領域をほぼ2ヵ月間ごとにまわり、薬剤管理指導業務を実践的に習得します。後期は専門・認定薬剤師取得をめざし、専門領域での薬剤管理指導業務を学びます。

3 希望領域の資格取得をめざす

薬剤部には、がん専門薬剤師、NST専門療法士、緩和薬物療法認定薬剤師、HIV感染症薬物療法認定薬剤師といったさまざまな専門・認定薬剤師が在籍。後輩育成のために指導を行っており、希望する領域での資格取得をめざすことができます。さらに当院は日本医療薬学会より「がん専門薬剤師研修施設」に認定されており、がん専門薬剤師の研修も受けることができます。

レジデント研修で、5つの診療科領域を経験できる。



医療技術職

医療を支えるプロフェッショナル。

医療技術職員は、各部門、各診療科で医療のスペシャリストとして業務に取り組んでいます。安心で安全な医療を提供するために、情報共有や勉強会、研修会、学会参加、資格支援などの活動を行っており、医療技術職員としての質の高い医療実践能力を磨いています。

医療技術職			
臨床検査部門	診療放射線部門	リハビリ・臨床工学部門	診療支援部門
臨床検査技師	診療放射線技師・医学物理士	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床工学技士	管理栄養士・視能訓練士・歯科衛生士・社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師・保育士

01 臨床検査部門

臨床検査技師

チーム医療の一員として専門性を磨く。

検体検査、微生物検査、輸血検査など、多様な検査を院内で実施でき、なおかつ24時間対応できる体制を整えています。『安全・正確・迅速』を理念とし、国際規格「ISO15189」を取得。さらには、チーム医療の参画や認定資格のチャレンジなど臨床検査技師として専門性を伸ばせる環境を完備しています。

INTERVIEW

林 茉里奈さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部　臨床検査部門
生理機能　所属

チーム医療の一員として診断・治療に貢献。

体表超音波検査、安静心電図検査、負荷心電図検査、呼吸機能検査などの生理機能検査を行っています。体表超音波検査では病変を発見し、臨床医とともに良悪性を判断するなど診断・治療に携わり、チーム医療の一員として非常にやりがいを感じています。研修制度も充実していて、臨床検査技師として成長できる環境です。

02 診療放射線部門

診療放射線技師

医療で求められる多種の放射線検査に対応する。

中央放射線部では、質の高い放射線診断画像を提供できるように最新の放射線診断機器を駆使し、専門知識をもったスタッフが放射線診断・治療業務を行っています。採用1年目には、救急業務（X線撮影・CT撮影・血管撮影またはMRI検査）を習得し、その後も広範囲な技術を身につけられるように業務、研修に取り組みます。

INTERVIEW

中野 敏幸さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部　診療放射線部門
放射線診断　所属

最新の機器で多様な症例を経験できる。

研修制度により、一度全てのモダリティーに触れてジェネラリストをめざした後、深く学びたいモダリティーを選んで専門性を磨くことができます。様々な疾患の患者さんが来院されるため、かなりハイスペックな機器が導入されており、多様な症例の経験を積むことができます。そのような希望の方には非常におススメの職場です。

03 リハビリ・臨床工学部門 理学療法士

チーム医療の一員としてのリハビリテーション。

患者さんの身体機能の回復や、ADL（日常生活動作）、QOL（生活の質）の向上を目指して、早期からリハビリテーションを実施します。運動器、脳血管、呼吸器、心臓大血管などに疾患を抱えた、多種多様な患者さんに対応するため、幅広い知識と技術が必要とされます。

INTERVIEW

武田 優奈さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
リハビリ・臨床工学部門
リハビリテーション　所属

勉強は大変ですが やりがいのある職場です。

運動器、脳血管、呼吸器など、さまざまな疾患を持つ患者さんへリハビリテーションを実施しています。車いすに移ることも大変だった患者さんが無事に退院され、元気になった姿を見せに来てくれたり、「担当してもらえて良かった」と言ってもらえたり。勉強は大変ですが、やりがいのある職場です。

05 リハビリ・臨床工学部門 臨床工学技士

全国有数の手術件数を支える 医療機器のスペシャリスト。

重症病棟業務、人工心肺業務、TAVI業務、アブレーション業務、心臓カテーテル業務、血液浄化業務、内視鏡業務、ME業務、手術センター業務、SPD業務などを行います。これら業務で医療機器を操作するほか、医療機器の保守・点検を通して、治療の安全性確保にも貢献しています。

INTERVIEW

岩川 純也さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
リハビリ・臨床工学部門
臨床工学　所属

幅広い業務で オールラウンダーを目指す。

手術センター業務、心臓カテーテル業務、ICUなどを含む病棟業務に携わっています。緊急治療や処置に参加し、無事に救命できた際には、人の役にわずかなりとも立てたという気持ちになります。従事できる業務の幅が広いため、オールラウンダーを目指す方に向いていると思います。

04 リハビリ・臨床工学部門 言語聴覚士

他職種と連携し、言語と聴覚のリハビリを行う。

成人言語領域、小児言語領域、聴覚領域の各領域を横断しながら入院・外来患者への対応を行っています。急性期リハビリに特化し他職種と連携しながら早期から携わるほか、小児の言語障がい全般に対する評価・指導、重度難聴患者に対する人工内耳術後の聴覚言語訓練なども行います。

INTERVIEW

湯野 真弓さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
リハビリ・臨床工学部門
リハビリテーション　所属

患者さんが改善する過程に 立ち会う喜び。

患者さんに「ありがとう」「リハビリしてもらえてよかった」と言っていただいたり、患者さんが改善していく過程に立ち会ったりするとき、やりがいや楽しさを感じます。多様な症例に触れ、先輩や他職種から専門的な意見を頂ける場も多くあり、言語聴覚士として成長できる環境です。

06 診療支援部門 管理栄養士

他職種と密に連携しながら、栄養管理に取り組む。

食事は治療の一環であるという考えから、安全で美味しく治療効果の高い食事を提供し、医師・看護師の協力のもとチーム医療で患者さんの栄養状態の改善に取り組んでいます。入職初期の研修では栄養指導見学や業務の流れを学ぶことからはじめています。

INTERVIEW

杉本 真一さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
診療支援部門
栄養　所属

技術職として スキル向上できる職場。

安全で美味しく治療効果の高い食事を提供し、食と栄養を通じて治療に携わっています。当院は大学病院並みの高度医療を提供するため幅広い知識が求められますが、様々な症例に接する機会があり、研修制度や資格取得の助成もあって、技術職としてスキル向上できるところが魅力です。

07 診療支援部門
公認心理師

他職種と連携・協働し、心理的支援を行う。

公認心理師は児童青年精神科、精神神経科（成人）、周産期、精神科リエゾン、認知症ケア、緩和ケア、遺伝カウンセリングなど、さまざまな領域で他職種と連携・協働しています。多様な業務に対応するため、先輩心理師によるスーパーヴァイズや学習会開催など、サポート体制も充実しています。

INTERVIEW

西村 翔さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
診療支援部門
心理・遺伝　所属

充実のサポート体制のもと、成長できる。

心理検査や心理療法の実施、治療プログラムの企画・運営など、幅広い業務があります。やりがいを感じるのは、心理療法で患者さんが成長していかれる姿に立ち会うなど、支援の一翼を担えたとき。心理師仲間が多く、先輩のサポートや研修も充実していて、成長につながっています。

08 診療支援部門
歯科衛生士

口腔ケアを通して、患者さんをサポートする。

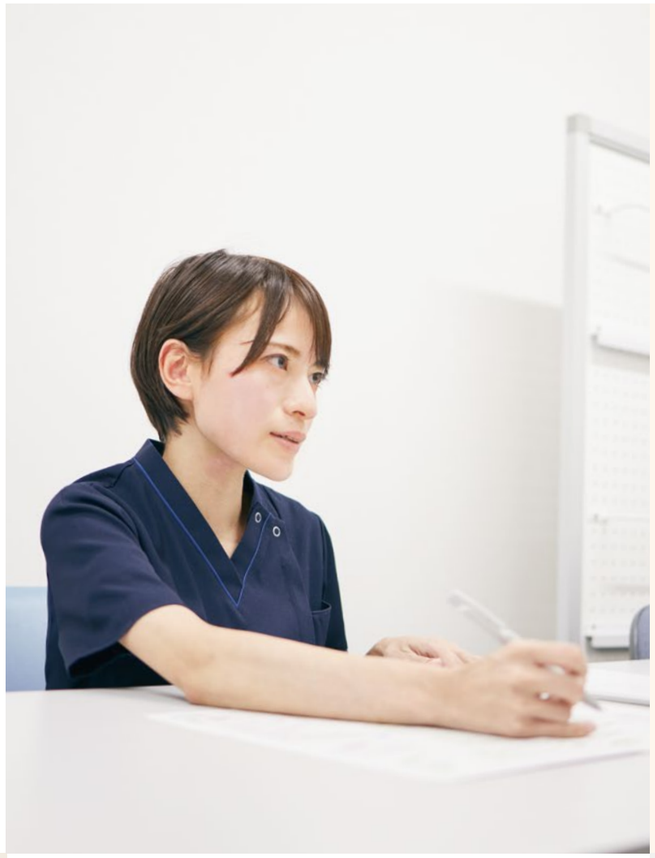
当院の歯科衛生士は、さまざまな疾患を持った入院患者さんに安心して治療を受けてもらうため、他職種と連携し、口腔ケアの専門的知識を発揮することが求められます。それらの能力を養うため、がんサロンをはじめとした院内講義や、厚生労働省が行う緩和ケア研修などの機会を用意しています。

INTERVIEW

川岸 愛菜さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
診療支援部門
歯科衛生　所属

大変さを上回るやりがいと達成感。

口腔外科や矯正外来などの診療補助業務、周術期口腔ケアなどに取り組んでいます。急性期の病院として専門的な技術を提供するには日々勉強が必要ですが、さまざまな疾患を持った患者さんと直接関わって努力の成果を発揮することができた時、大変さを上回るやりがいや達成感、喜びを感じられます。

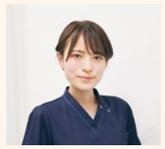


09 診療支援部門
社会福祉士

多角的な視点で患者さんの支援に携わる。

多様な診療科や医療チーム、特殊な病棟が存在する当院の医療ソーシャルワーカーには、横断的で多角的な視点で患者さんを支援し、院内外の調整ができる力が必要です。そのため、異なる立場や視点を持つ当院の各室・センターやPSWと早期から連携・協働し、ともに学び合う場を数多く用意しています。

INTERVIEW



宮内 陽菜乃さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
診療支援部門
福祉　所属

充実感を持って働ける環境。

患者さんがよりよい社会生活を築けるよう、心理・経済・社会的問題に対する支援を行っています。専門分野をもつ先輩方に相談できる環境で、他職種のスタッフとコミュニケーションを取る機会も多く、急性期病院のソーシャルワーカーとして充実感を持って働くことができます。

10 診療支援部門
視能訓練士

幅広い年齢層の眼科検査を行う。

眼科と小児眼科があり、新生児から高齢者までの幅広い年齢層の眼科検査を行っています。他施設では経験できないような乳幼児の検査もあり、視能訓練士として技量を高めることができます。視能訓練士の重要な業務の一つである、脳神経外科の手術前後に行う動的視野検査も数多く行っています。

INTERVIEW

福地 文子さん
大阪市立総合医療センター
医療技術部
診療支援部門
視能　所属

患児の視力向上と笑顔がやりがい。

視力や視野検査などの眼科検査全般を行っています。乳幼児の弱視訓練にも力を入れており、患児の視力が向上して笑顔が増えることにとてもやりがいを感じます。困難な症例も多いですが、先輩方や医師へも質問がしやすいため、その都度問題を解消して技術を向上できる環境です。

事 務

専門性を活かして
患者さんと病院を支える。

医療事務や総務、財務といった業務を担当します。医療事務は、病院の主な収入源である診療報酬請求を始めとし、一般企業にはない病院特有の事務業務を行います。総務業務は、職員の採用や退職、給与・福利厚生、広報を含む対外的な業務など、幅広い業務を行います。財務業務は、予算案の策定、資金管理から物品の調達まで、経営資源である「お金」と「モノ」を通じて、病院運営を支える業務です。地域の皆さまと医療スタッフを円滑に結び支えることができるよう日々の業務を事務職員皆で協力して行っています。

研修について

採用1年目には新人事務職員研修があります。この研修では、自身の配属先以外の部署の話を聞き、業務内容の理解や事務の知識を深めます。また、医療職のスタッフに病院内の各部門を案内してもらい、自身の業務がどのように病院事業を支えているのか肌で感じることができます。その他に社会人としてのマナー研修やスキルアップ研修なども別途行っています。

INTERVIEW

事務 渡邉 美里さん

大阪市立総合医療センター
総務部　総務課人事　所属

後方からのサポートで医療従事者を支える。

採用、人事評価、給与関係などに携わっています。採用関係の業務では募集や病院見学会、採用試験を準備・実施し、採用者が決まると達成感を感じます。その他の業務として、証明書の発行や人事データの作成にも携わっています。医療従事者を後方からサポートすることで、間接的に地域の方々へ貢献できることがやりがいにつながっています。新人研修では看護師や医療技術職など他職種の部門に関する話を聞くことで、自分の業務と病院の運営との関連を理解することができます。一緒に働けるのを心待ちにしています。

事務 岩峪 美青さん

大阪市立総合医療センター
医事・医療情報部　医事課入院　所属

多くの知識を身につけ成長できる環境。

主に入院患者さんの退院精算や、レセプト提出による保険請求業務を行っています。入院収益は病院収益の多くを占めており、高額なレセプト請求をすることもあります。初めは分からないことばかりですが、徐々に知識が身につき、一人で担当病棟の患者さん全ての請求ができた時には、収益面で貢献できたとやりがいを感じることができます。先輩がやさしく丁寧に教えてくれる環境で、OJT制度もあり相談しやすい体制が整っています。大規模病院でしか得られない症例に出会い、成長できる環境だと思います。

事務 木村 文紀さん

大阪市立総合医療センター
医療連携部　地域医療連携センター　所属

「病院の顔」として地域の方々に貢献する。

外来予約業務や地域の医療機関との連絡・連携、かかりつけ医の紹介、講座や研修会の開催などを行っています。入職3年目までの病院事務職員にはOJT研修があり、担当者のもと計画的に業務を身につけていきます。覚えることがたくさんありますが、「病院の顔」としてさまざまな方と接する機会があり、自分を成長させることができます。また、福利厚生も手厚く、働きやすい環境が整っています。高度急性期病院職員として地域の皆さんへ貢献したい方、多職種の方々と関わりたい方は、是非挑戦してみてください。

HOSPITAL GUIDE
［大阪市民病院機構 病院ガイド］

大阪市立総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2丁目13番22号 | TEL:06-6929-1221

高度な医療技術を駆使し54の診療科で市民のニーズに対応。

最新の医療機器と高度な医療技術を駆使して、24時間体制で救命救急医療を提供しています。また、各診療科で専門的医療を行い、特に「がん・心疾患・脳血管疾患」の三大疾患を中心とした高度医療に対応するため、臓器別に診療科が編成されているほか、ハイリスク周産期医療から小児科分野における高度医療、感染症医療にも取り組んでいます。常に市民のニーズに応えられるように、更なる病院機能の向上に努めています。

高度専門的医療の提供

●救命救急センター(3次救急)　●小児救命救急センター　●日本医療機能評価機構認定病院　●地域がん診療連携拠点病院　●小児がん拠点病院　●大阪府災害拠点病院　●第一種・第二種感染症指定医療機関　●総合周産期母子医療センター　●エイズ診療中核拠点病院　●地域医療支援病院　●産婦人科診療相互援助システム基幹病院　●新生児診療相互援助システム基幹病院　●臨床研修指定病院(基幹型)　●精神保健福祉法指定医療機関(緊急措置入院)　●母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設　●がんゲノム医療拠点病院

高度な専門性により、数多くの学会からも施設認定を受けています。研修施設・教育施設として次代の医療を担う人材を育成する役割も担っており、多岐に渡る経験ができます。

大阪市立十三市民病院

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2丁目12番27号 | TEL:06-6150-8000

地域密着型の中規模病院として、18の診療科を有しています。2009年には世界保健機関(WHO)と国連児童基金(UNICEF)から「赤ちゃんにやさしい病院」として認定されました。

18の診療科を有する地域密着型の中規模病院。

各科が専門性の高い医療を行っていますが、市民病院として地域の方に寄りそう姿勢を大切にしています。地域の医療機関からの紹介や二次救急の受け入れなど、急性期・重篤な状態にある患者さんから慢性期に移行前の患者さんまで幅広いケアを提供しています。診療科間の垣根も低くアットホームな雰囲気も特色です。また内視鏡センターでの苦痛のない検査・治療を推進するなど患者さんから高い評価を得ています。地域住民のニーズに応えられるように常に病院機能の向上に努めています。

施設認定など

●日本医療機能評価機構認定病院　●救急告示病院(第2次救急医療機関)　●市町村災害医療センター　●新生児診療相互援助システム協力病院　●赤ちゃんにやさしい病院(BFH)　●臨床研修指定病院(協力型)　●大阪府がん診療拠点病院